

附則 長内校部活動の安全対策

部活動共通ルール

- ・部活動の際は、適切な休憩や給水等、健康や安全に十分留意して取り組むこと。
- ・活動場所や用具を定期的に点検し、必要に応じて補修や更新を行うなど、安全な活動環境の整備に努めること。
- ・活動場所における部活動未加入の生徒動向に注意を払い、声掛け等により事故の未然防止に努めること。
- ・気温や湿度、気象情報を確認し、熱中症や落雷、その他自然災害の恐れが予測される場合は、活動を行わない、又は中止すること。

熱中症対策について

- ・「長内校危機管理マニュアル別冊資料 熱中症対策について」に準じて対応する。

部活動において予想される危険と事故防止対策について

〈陸上競技部〉

予想される危険

- ・走っているときに、校庭で遊んでいる（キャッチボールなど）生徒とぶつかる危険性。
- ・熱中症になる。
- ・酸欠になる。

事故防止対策

- ・遊んでいる生徒の動向を意識しておく。声掛けをする。
- ・こまめな水分補給。休憩時間は日陰に入る。
- ・練習メニューの熟考。休憩時間・設定タイムの調整

〈卓球部〉

予想される危険

- ・プレー中の生徒と卓球台との衝突の可能性がある。
- ・卓球台の準備や片付けがある時は、怪我をする可能性がある。

事故防止対策

- ・プレー中の台に不用意に近づかないように、周りの生徒に注意喚起する。
- ・卓球台の準備や片付けは、必ず複数名で行うことを徹底する。

〈バドミントン部〉

予想される危険

- ・ネットを張る際に、器具に指をはさむ。
- ・他の部活動のボールの侵入により、転倒する。
- ・コート脇を移動する生徒との接触。
- ・試合時は窓を閉めるため、熱中症になる。

事故防止対策

- ・ネットを張る際は教員が立ち会う。
- ・ボールが侵入した際は大きな声で知らせること、プレーを中断することを指導する。
- ・インプレー中はコート脇を移動しないよう指導する。
- ・こまめに水分補給・休憩を行う。

〈バスケットボール部〉

予想される危険

- ・対人練習中の接触により怪我をする。
- ・転倒したり、体育館内器具に接触したりして怪我をする。

事故防止対策

- ・ルール指導を徹底し、基本的に接触すること自体を減少させる。
- ・無理な動作（急発進、急停止等）が無いように、顧問及び部員さらに隣接するバドミントン部、卓球部と声掛けをし合い、注意喚起をする。

その他の取組

- ・厚めのワックスをフロアに塗布してもらう。

〈文化部：園芸班〉

予想される危険

- ・草花のアレルギー、虫刺されによる症状が現れる。
- ・鎌などの刃物の誤使用によって負傷する。
- ・グラウンドでキャッチボールや野球で遊んでいる生徒の投げそこなったボールによって負傷する。

- ・収穫した野菜を調理する際の怪我、火傷の際は安静にして呼吸を整えさせる。症状によっては直ちに医療機関に搬送し医師の治療を受ける。

事故防止対策

- ・肌を出さないようにする。ビニールハウス内にアレルゲンとなる草があるので、アレルギー反応を起こす生徒を中に立ち入らせない。
- ・作業に従事する場合は適度な距離をとり、道具をふりまわさないよう注意する。
- ・安全に配慮した場所で遊ぶよう声をかける。危害の及ぶ可能性がないか常に監視する。
- ・包丁の使用や揚げ物用の油の管理に気を配る。生徒だけで調理することのないよう常に教員が立ち会う。

〈文化部：総合文化班〉

予想される危険

- ・カッター、はさみ等の刃物によって怪我をする。
- ・UVレジン、接着剤等の溶剤によって各種障がいや症状が現れる。

事故防止対策

- ・刃物使用の際は、指導者立ち会いの上、随時注意喚起を行う。
- ・溶剤を使用する際は、換気を確実に実施する。

部活動時間におけるヒヤリ・ハット事例

- ・シュート練習中、ゴールから外れたボールが、近くで談笑していた部活動に加入していない生徒の顔面にぶつかった。
→談笑中の生徒に移動や注意喚起等を促す声掛けなどをして、安全の確保に努める。
- ・普段調理を行わない教室で収穫したクルミを調理した後、その教室で授業を受けた生徒が、軽度のアレルギー反応を起こした。
→アレルゲンを含む食品を取り扱う際は、屋外や十分な換気が行える空間で活動する。また、アレルギー疾患を持つ生徒の情報を事前に把握し、活動による影響が及ばないように十分注意する。